

## 目次

序文	王維坤	i
序章 共同研究の組織と研究の経過	宇野隆夫	iii
第1章 東アジアの都城		
唐の長安城大明宮含元殿の発掘と龍尾道の復元		
一渤海の宮殿と平城京・平安京の宮殿から見る一	王維坤	3
中国における都城の概念の変化と日本の宮都	豊田裕章	19
藤原京の成立と構造をめぐる諸問題	小澤毅	67
日本古代都城造営の史的意義—東アジア世界の歴史潮流の中で—	井上和人	95
近世中国における皇城の成立	新宮学	139
明清北京城の方位と尺度	宇野隆夫	179
第2章 東アジアの墓制		
ソグド人墓の発見と最新研究	王維坤	195
中国古代墳墓出土の雲母片略論	門田誠一	213
第3章 東アジアの文物交流		
シルクロードと正倉院銀盤	王維坤	231
縄文時代玉製品にみられる大陸文化の影響	川崎保	261
中国における製鉄遺跡研究の現状と課題		
一主に河南省を中心に—	関清	287
東アジアにおける日本列島の鉄生産	関清	311
第4章 史料にみる東アジア交流		
在唐の日本留学生井真成墓誌の発見と新研究	王維坤	329
遣隋使の見た隋の風景		
一「開皇二十年の遣隋使」の理解をめぐる—	氣賀澤保規	347
開元期の長安道教の諸問題—金仙・玉真公主をめぐる—	土屋昌明	365
唐後半期における財政運営と聴政制度		
一憲宗元和13年の上奏文の意義—	高瀬奈津子	397
朝鮮三国王都の変遷	田中俊明	417
渡来人と聖徳太子—太子「否定」論の一端にふれて—	井上満郎	437
神聖の剣と魔法の領布—言語学と歴史学の接点—	アレキサンダー・ヴォヴィン	455
古代東アジア文明と日本古代社会の接触の多様性	馬場基	469
終章	王維坤	481